

# 令和4年度 深め隊活動報告

千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

令和5年3月4日

# 令和4年度の深め隊活動は ざっくりこんな感じです

## 昨年度の取り組み

- ピアサポーターの雇用促進
- ピアサポーター雇用加算について
- 雇用している事業所の思い
- 雇用されているピアサポーターの思い
- 就労移行支援事業所さんと共有
- 就労系事業所さんと共有

## 今年度の取り組み

- 雇用すること・されること、  
それぞれの思いの発信
- 合理的配慮とは一体何なのか
- 配慮する側・される側
- 発信の場を拡大していこう

# 活動内容

- ▶ ○今年度は深め隊の隊員に当事者の方をお迎えしました。退院の顔ぶれは昨年度から引き続きの皆さんに加えてフレッシュな方にもご参加いただきました。
- ▶ ○深め隊打ち合わせは令和4年7月からスタート。ほぼ毎月開催、今年度の活動内容について話し合いました。この話し合いはいろいろな意見が出ます。各隊員の旬なテーマを出し合い、すり合わせていきました。
- ▶ ○紆余曲折の結果、今年度は「合理的配慮」を大テーマとして企画を考えていくことになりました。対面を考えましたが、やはり開催はzoomで…としました。
- ▶ ○テーマは決まったものの、どんな研修会にしていくのか、どこをターゲットにしていくのか、話し合いはどんどん広がっていきました。就労系福祉事業所だけでなく、教育の現場や放課後等デイサービスのような事業所にも発信したい…そんな思いがどんどん出てきました。
- ▶ ○紆余曲折ありましたが今年度のテーマに沿って、「合理的配慮とは」そもそもどういうことなのかのレクチャー、配慮をうける当事者の意見、雇用している事業所の意見を発信していこうとなりました。また、事業所向けと教育機関向けの2回講座としました



# 合理的配慮講座 事業所さん向けver

- 令和4年11月18日zoom開催
- 合理的配慮の考え方・具体的にどのような取り組みが必要なのか・・・を就労移行支援事業所のノウハウをもとに講義していただく。今回は雇用をメインとして。
- 当事者の体験談をもとに合理的配慮と甘えの違いを当事者としての思いを発信
- ピアスタッフを雇用している事業所より、管理者さんとピアスタッフさん、それぞれから対話形式でお話を伺う。

# 合理的配慮講座 教育機関向けver

- ▶ 令和4年12月9日 zoom開催
- ▶ 教育の現場に必要な合理的配慮とはどういうことか。なにをすればいいのか…等をレクチャー
- ▶ 当事者から体験談を発信。自身が受けてきた合理的配慮、友人や教員からの意見も紹介。
- ▶ 実際、ピアスタッフを雇用している事業所の管理者とピアスタッフから、実際の現場の様子をレクチャー

# 今年度の総括と来年度の課題

## 総括

- ▶ 今年度は「実際に雇用するということはどういうことなのか」に焦点をあてました。昨年度、ピアスタッフ雇用に焦点を当てたところ、雇用には前向きであっても、どのように配慮したらよいかわからない…というお声をいただいております。そこにお応えする形での口座を開催できました。
- ▶ 深め隊の隊員は少人数。今年度は当事者の方にも参加していただきました。体験を聞く中で、今更だけど合理的配慮について、もう1度、深めていこうという発想が生まれました。
- ▶ 深め隊は当事者の皆さんとの協働が大前提であることを再認識。
- ▶ 昨年度に引き続き、広め隊との連携ができた

## 課題

- ♡ 講座は発信だけでなく、もっと参加者の皆さんと深めていきたい。ディスカッションのできる講座を開催できるように。
- ♡ 発信の場の拡大。福祉系事業所にとどまらず、教育の現場や一般企業ともつながってきたい。
- ♡ そろそろピアサポーター同士の交流の場、当事者同士の交流ができる企画ができれば…

# SpecialThanks